

## 平成31年度 県立木曾病院事業計画の概要

県立木曾病院

### I 平成31年度業務運営目標

第2期中期計画期間の最終年度となる平成31年度は、第2期中期計画において達成すべき課題に対して取り組むとともに、県から示される第3期中期目標に対応する第3期中期計画を策定する。

また、働き方改革や消費税増税など、経営を取りまく厳しい環境の変化を見据え、更なる経営改善の取組みを進める中で、引き続き、安全・安心で良質な医療サービスを提供する。

### II 業務運営の主な目標値

区 分	目 標 値	29年度実績
延べ患者数（入院）	49,037人	45,888人
延べ患者数（外来）	125,475人	128,076人
病床利用率	78.6%	67.6%
医療材料費/医業収益比率	23.0%	23.8%
ジェネリック医薬品使用率	85.0%	80.7%

### III 新規・拡充事業

- 1 ⑧ 介護医療院の開設
  - ・介護医療院を平成32年3月を目途に開設、長期療養のための医療と日常生活上の介護を一体的に提供する体制を整える。
- 2 ⑧ 特定健診・健康診断の充実
  - ・国保加入者の特定健診の充実、木曾南部地域住民の健康診断の充実
- 3 ⑧ 助産師外来及び産後ケアの充実
  - ・産後ケア事業への参画により地域の母子保健関係者との連携を行うとともに、産後2月までの院内デイ等を実施しケアサポートの充実を図る。
- 4 ⑧ 介護老人保健施設運営の充実
  - ・地域に貢献する活動への取組みの推進
  - ・入所、退所前の訪問指導の推進
- 5 ⑧ 「病院・地域母子連絡会議」を開催し、地域の母子保健関係との連携強化
  - ・患者サポートセンターを中心に、連携強化を図る。
- 6 ⑧ 医療従事者の確保に向けた取り組み
  - ・将来的な医師の確保に向け医学生を対象とした「病院見学会」を開催（8月開催予定）
  - ・将来的な病院事務職員及び医療技術職の確保に向け県内高校生を対象とした「病院医療体験」を開催（3月開催予定）

- 7 ⑧新たな経営指標を導入し、職員の経営意識を向上
- ・全職員が容易に理解できる新たな経営分析指標を導入し、運営委員会等で分析結果を周知することで職員の経営者意識を醸成。

## IV 継続事業

### 1 地域医療の提供

- ・二次医療圏内唯一の病院として、24時間365日オンコール体制で救急医療の提供
- ・木曾広域消防本部と連携し、救急搬送の事後検証会や早朝勉強会を開催し、関係職員の資質を向上
- ・地域がん診療病院として、がん患者の診療及び相談支援体制の充実  
「地域巡回リハビリテーション」の継続
- ・対応困難な脳外科手術、心臓手術などの緊急を要する治療を確保するため、隣接医療圏に所在する医療機関との連携を維持

### 2 へき地医療

- ・医師・看護師・薬剤師等のチームによる、無医地区への定期的な巡回診療

### 3 介護老人保健施設運営の充実

- ・短期集中リハビリ・個別リハビリを積極的に実施
- ・職員の介護支援専門員（ケアマネージャー）の資格取得を推進、病院の認定看護師の協力を得て、職員研修を開催
- ・高齢者虐待の防止や職業倫理に関する職員研修の実施、多職種間のコミュニケーションの向上
- ・事業所訪問や木曾広域連合のCATV等を利用した広報活動
- ・ボランティアの積極的な受け入れ

### 4 地域包括ケアシステムにおける在宅医療の推進

- ・患者サポートセンターを中心に病院・地域連携会議を開催し、地域の医療・介護・福祉施設等と連携
- ・入退院調整及び相談支援等について、専任の職員を配置
- ・入退院支援に関する研修を関係職員対象に行い、支援体制を充実
- ・人間ドック及び各種検診の充実、公開講座等による啓発活動を実施
- ・「地域巡回リハビリテーション」の継続（再）
- ・訪問診療において電子カルテ用モバイル端末を活用し、医療機能の向上

### 5 がん診療機能の向上

- ・地域がん診療病院として、がん患者の診療及び相談支援体制の充実（再）
- ・信州大学医学部附属病院での症例検討会への参加及び、信州大学医学部附属病院との連携により、診療や職員への教育体制の維持
- ・がん相談支援センターによる患者相談、情報提供を進め、がん予防、がん診療支援等の機能の充実
- ・患者サロン等を定期的で開催することにより患者への支援
- ・緩和ケアチームにおいて、認定看護師を専従配置、定期的な院内ラウンドを継続
- ・がん患者に関する地域連携クリニカルパスの運用を継続、地域との連携を強化

- 6 災害医療の提供
  - ・災害時における安定的かつ継続的な医療を提供する
  - ・DMA T（災害派遣医療チーム）は災害現場で適切な救命救急処置等を行うため、各種研修訓練に参加する。
  
- 7 医療従事者の確保と育成
  - ・職員のワークライフバランス充実のため、時差出勤を推進
  
- 8 患者中心の医療の実践
  - ・がん相談支援センターによる相談・情報提供機能を進め、がん診療支援機能を充実
  - ・患者サロンを定期的を開催することにより患者への支援（再掲）
  - ・がん早期発見のため、関係機関との連携を強化、相談・情報提供機能の充実
  - ・がん患者に関する地域連携クリニカルパスの運用を継続、地域との連携を強化（再掲）
  
- 9 患者満足度の一層の向上
  - ・職員や地域のボランティアによるコンサートを開催、患者サービスの向上
  - ・入院患者を対象に、ワゴンサービス、出産お祝い膳等のフードサービスを実施
  - ・院内設置の意見箱により来院者からの意見等を収集、管理者会議等で検討
  - ・“木曾地域の医療を守る会“と一緒にエントランス及び中庭へ花を植え院内アメニティーの向上
  - ・医療費あと払いサービスの利用を広め、支払いについて利便性の向上
  
- 10 病院経営に一体的に取り組むための職員意識の向上
  - ・職員間の理解を深め、一体化を図るため、院内広報誌等を発行
  - ・各部門別のB S C（バランス・スコアカード）の展開の充実を図り、業務改善を推進
  
- 11 収益の確保と費用の抑制
  - ・退院日即日会計、夜間休日受診時の預かり金対応等、未収金防止策を推進
  - ・人間ドック受診者増加に向けた取り組みを実施
  
- 12 情報発信と外部意見の反映
  - ・病院祭や出前病院、公開講座等を開催し、住民への方法発信を行う
  - ・病院だより、ホームページ及び木曾広域C A T V等を利用した地域住民への情報発信
  
- 13 病床利用率の向上
  - ・ベッドコントロール会議を定期的で開催し、効率的なベッドコントロールを実施
  - ・岐阜県内の医療機関の再編の動きを踏まえ、木曾南部地域の患者獲得に向けた広報等を積極的展開、退院調整等院内の一層の連携強化、病床利用率の向上